



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

しらこぼと

2016.3

No.383

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



「1年の計は3月にあり」と思う

自然の始まりはやはり春、3月です。鳥見計画も3月から立てやすいようです。そこで今月号は、1年の鳥見計画をどのように立てているのか、前回の県内鳥見ランキング「観察鳥種数」部門で優秀な成績を残されたお二人に、Q&A形式で伺いました。皆さんの鳥見計画にお役立てください。

Q1:「県内鳥見ランキング」に参加されたわけを教えてください。

Q2:1年の計をどのように立てられていますか。

Q3:観察鳥種をどのように積み上げていったのか、そのコツ、工夫を教えてください。

Q4:アドバイスをお願いします。または、ご自身が今年ぜひ見たい鳥を教えてください。

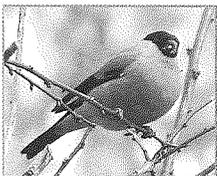
北本市・吉原早苗さんの場合

A1:1位を目指すというよりも参加する事に意義がある、という気持ちで毎年参加しています。前回(2014年分)、私は前年の石塚さんの176種に遠く及ばない151種で安心して参加しました。それなのに不覚にも1位になってしまいました。晴れがましい事が少々苦手な私としては、正直なところ、この結果に困惑してしまいました。

今後このような事が起こらない様に、皆さんもどうぞおっくうがらずに、頑張って「県内鳥見ランキング」に参加して下さい。

A2:年の初め、ほっと一息つく小正月の頃に毎年、前年メモしておいた確認鳥の記録をサマリーシートに書き込む事が、私の密かな楽しみとなっています。2月1日、石戸宿探鳥会で出会った1羽の美しいウソ、5月14日、2年ぶりに我が家で聞いたカッコウの声、等々、書き込んでゆくうちに、その時々に出会った鳥たちとの出会いの感動が蘇り、とても幸せな気持ちになってくるのです。

そして、今年もあの鳥に会いたい、去年は会えなかったけれど、今年こそ是非会いたいと、年始早々、鳥見モードにエンジンがかかるという訳です。



(ウソ 吉原俊雄)

A3:特にコツとか工夫とかはありません。私の確認した鳥の多くは探鳥会で見た鳥です。

探鳥会では鳥談義に限らず世間話に花を咲かせながらも、目と耳は周囲の鳥を探しているという芸当の出来るベテラン諸氏を含め、多くの参加者の目と耳で鳥を探し、読んで字のごとく探鳥会なのですから「あ！アリスイが居る！」「え、どこ？」「目の前の葉っぱのない木の9時の位置」「分かった」「どこなの？分らない」「望遠鏡に入ったよ」「ありがとう。見せて」と言う具合に、探鳥会に参加する事によって効率良く種数を増やしています。

探鳥会以外では、探鳥会が開催されていない埼玉県民の森(去年は森へ至る山道で偶然ヤマシギに会いました)や八丁湖に行ったり、渡りの時期にはシギやチドリを求めて水の入っている田んぼをうろうろして、少しずつ種数を増やしています。

A4:先ず探鳥会に参加する事をおすすめします。犬も歩けば、いえ、探鳥会に参加すれば鳥に出会えます。

私が今年ぜひ見たい鳥は、ホトトギスです。私は姿を見る事と同じように鳥の鳴き声を聞く事が大好きで、その季節にその場所での声を聞かないと落ち着きません。一昨年は、毎年自宅で聞いていたカッコウの声が聞けませんでした。圏央道の工事の影響かと気になっておりましたが、去年は聞く事が出来て、安心しました。同様に去年はホトトギスの声を県内で聞けませんでした。毎年聞く近所の北本自然公園では、聞いた方がいらっしやるのに、なぜか聞けませんでした。そのため、今年はずいぶんホトトギスの声を聞きたいと思っ

ています。姿が見られたら最高です。

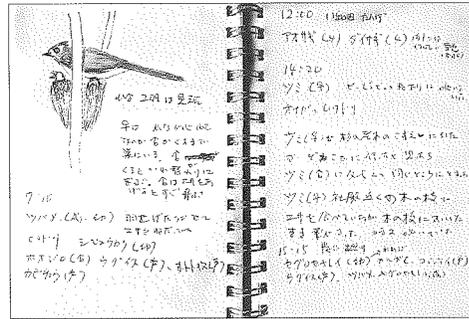
小川町・千島康幸さんの場合

A1:私は交通の混雑状況から県南部にはあまり行きませんので、県北部を中心に鳥見をしています。そんな私でも無理なく、1年間でこれ位は見られますということを知って欲しくて参加しています。

A2:細かい計画は立てませんが、大まかに1月から3月は冬鳥、4月から6月は夏鳥、夏は高原の探鳥地へ、9月はタカの渡り観察、11月から12月は冬鳥と1年間を過ごしています。過去のフィールドノートを参考にして、今頃は何処に行けば何が見られるかを考えて、県内、群馬、長野、新潟方面に出かけています。常日頃、野鳥専門月刊誌、探鳥地ガイド、鳥関係の図書を読み、春から夏に遠征の計画を立てています。昨年は4月に奄美大島でアカヒゲ、ルリカケス、6月には道東でタンチョウの親子、エゾセンニュウ他に会えました。今年は3月に石垣島、6月に北海道を計画しています。

A3:2004年4月に野鳥の会に入会した当初から、記録を残すためにフィールドノートをつけています。年明けに1年間を振り返り、観察種を整理して年間観察種を記録しています。2006年からは県内観察種も別に整理するようにして、2011年からはエクセルの表を作成しています。夏鳥、冬鳥、漂鳥の初認日で記入し、観察種の年変動、初認日の変動を把握できるようにしています。

A4:フィールドノートをつけると良いと思います。私は日記をつけていないので日記のつもりでつけ、すでに12冊以上になりました。用紙は野外で使うので、目のために白いものでなく罫線もないものが使いやすいです。無印の文庫本サイズのをクリアファイルで切ったもので表紙を補強して使用しています。日付、場所、天候、時間、観察種、遠征した時は走行距離、費用、同行者等を記入しています。貴重なデータになりますし、探鳥地を計画する時に役に立ちます。記録写真を撮るようになってからはしなくなりましたが、スケッチをすると観察眼も養えますし、後で



見た時に、より感動が再現できます。

また、野鳥の声を録音すると良いと思います。本格的な機材がなくてもICレコーダーで十分です。野外で素晴らしいさえずりを聞いた時、それを録音しておく、CDの短い録音を聞くのと違って、その時の情景まで浮かべることができます。地鳴きも録音すると、鳥を見るだけでない楽しさが広がります。自分で録音した、早朝の峡谷にこだまするアカショウビンのさえずりは何回聞いても感動します。

身近なところにもっと目を向けましょう。そんなところにそんな鳥がいたのど驚くことがよくあります。私の場合は、地元と言ってもいいところでアカショウビンが数年前までは繁殖していたということです。今年こそは、県内でアカショウビンに会いたいと思っています。

普及部から

昨年の12月23日の年末講演会で、蒲谷剛彦氏より、収録・構成・解説/蒲谷鶴彦『日本の四季を彩る鳥たちの歌』CD(非売品)を3枚ご寄贈いただきました(右下写真)。1枚を事務局保存とし、2枚を今回の県内鳥見ランキングの「探鳥会参加数」「観察鳥種数」それぞれの部門1位の方の副賞といたします。



野鳥記録委員会の最新情報

日本野鳥の会埼玉 野鳥記録委員会

●カラムクドリ

英名 White-shouldered Starling

学名 *Sturnia sinensis*

分類 スズメ目ムクドリ科カラムクドリ属



2015年11月26日午後1時ごろ、会員の高橋達也・美保子夫妻により、戸田市内において写真撮影（上写真）されました。検討の結果、当委員会は334種目の野鳥として県内野鳥リストに追加することにしました。

観察者によれば、「柿の木に集まる野鳥に交じって1羽で実をついばんでいた。観察できたのはこの日だけだった」ということです。

ムクドリよりやや小さく、白い雨覆がよく目立つ野鳥ですが、写真を見ると、雨覆の白い範囲が広く、また、三列風切と次列風切の外縁に淡褐色が幅広く残っていることから、これは子の若鳥であり、中雨覆・小雨覆の換羽が進行中で、その部分に灰白色の羽毛が残っているのではないかと思います。

本種は、数少ない冬鳥もしくは旅鳥として、多くは南西諸島で観察され、関東地方でも記録があります。『埼玉県動物誌』（埼玉県教育委員会1978年3月15日発行）にも、「岩槻で採集したという早の1標本があることを初山氏が報じているが、これが唯一の記録である」とありますが、これは当委員会が対象としている1978年4月以降の記録には含まれません。

なお、上写真の腹部のあたりに、濃い色でぼったり丸く写り込んでいるのは、背景の柿

の実です。

●サバンナシトド

英名 Savannah Sparrow

学名 *Passerculus sandwichensis*

分類 スズメ目ホオジロ科サバンナシトド属



2015年12月10日、会員の菊川和男氏により、蓮田市内で写真撮影（上写真ほか1枚）されました。検討の結果、当委員会はサバンナシトドと確認し、発表することとします。本種の当県内での記録は、1991年11月（本誌1993年8月第112号参照）と1998年3月（同1998年6月第170号参照）に次ぐ3例目となります。

本種はこれまで、北アメリカ大陸に生息する野鳥と考えられていましたが、『フィールドガイド日本の野鳥』増補改訂新版(2015年)が示す分布図に拠れば、その生息域はロシアのカムチャツカ半島にまで及ぶことが確認されているようです。日本では稀に記録される迷鳥ですが、眉斑の色に、白から黄白色という個体差があつて、今回記録されたのは（モノクロ写真ではお伝えしにくいことですが）黄色味がはっきりした個体です。

なお、本種の和名について、古い図鑑や文献等にクサチヒメドリという名称が使われている場合がありますが、当委員会は『日本鳥類目録』改訂第7版(2012年)に基づき、サバンナシトドという和名を用います。



野鳥情報

熊谷市玉作 ◇11月8日、荒川に架かる大芦橋の西側の農耕地にて、タゲリ5羽、ミヤマガラス約100羽の群れ。ともに今季初認(榎本秀和)。

さいたま市西区・大宮区の鴨川 ◇11月9日、島根橋付近の川岸の柳でヒヨドリ約10羽が鳴き交わし、代わる代わる川へ飛び降り、1秒間程腰を浸しては舞い戻る。遊びを兼ねた水浴びだろうか？ 対岸の枯れ木にスズメ15羽+。11月15日、島根橋～植田谷堰でオオバン3羽、マガモ♂2羽♀8羽、カルガモ14羽、バン、カイツブリ、キセキレイ2羽、アオジ、ジョウビタキなど。植田谷堰～学校橋でヒドリガモ29羽、オカヨシガモ♂2羽♀1羽、コガモ25羽、カルガモ7羽、カワウ、コサギ、アオサギ、カワセミ2羽、モズ、カシラダカなど(大塚純子)。

久喜市久喜菖蒲公園 ◇11月11日、モズ♀が執拗にシジュウカラを追い回したが、逃げられた。オオバン30羽士が芝生で採餌後、一斉に水辺に移動した。梢のカワラヒワの黄色が綺麗だ。他にカンムリカイツブリ、オナガガモ、ヒドリガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、カルガモなど(長嶋宏之)。

白岡市西 N36.0134 E139.6495 ◇11月11日、イカルチドリ2羽、セグロカモメ1羽、コサギ2羽、ダイサギ3羽、カイツブリ2羽、コガモ多数、カルガモ多数(長嶋宏之)。

蓮田市西城沼公園周辺 ◇11月13日、ツグミ30羽士の群れが南から北に飛んだ。渡って来たばかりのようだ。ハシボソガラス5～6羽の中に、黒褐色の上面に灰白色の羽が胡麻塩状にある1羽がいた。11月16日、葉を落とした梢にカシラダカ3羽。カシラダカはこの公園周辺で観察を始めてから初めての観察。11月19日、シメが飛んできて梢にとまった。今季ここでの初認。ホオジロ3羽が梢を移動。今季ここでの初認。11月21日、コジュケイが久しぶりに轉った。11月24日、オオタカがムクドリを追ったが失

敗。11月25日、尾羽が全くないヒヨドリがいた。飛ぶ姿が丸くなくなるとなく変だ(長嶋宏之)。

熊谷市津田 ◇11月16日正午頃、刈田にタゲリ15羽ぐらいの群れ。他にノスリ、オオタカ、トビ、チョウゲンボウ、アオサギ、ダイサギ、モズなど(大畑祐二)。

鴻巣市大間1丁目 ◇この秋はツグミの渡来が遅い。11月20日、ようやく声を聞く。翌21日、鳴きながら飛ぶ3羽を確認(榎本秀和・みち子)。

熊谷市箕輪 ◇11月21日、今日もタゲリの群れが刈田の辺りを舞っているのを確認。近くの水路沿いにアオサギ、少し離れた所にノスリ2羽(大畑祐二)。

さいたま市中央区八王子5丁目 ◇11月23日朝、かやのき団地8号棟の庭のイチョウでシロハラ1羽、「ツイー」と鳴く。12月14日、同じイチョウの木にモズ1羽、ツグミ1羽。ツグミは静止し、モズは尾を打ち振る(大塚純子)。

坂東大橋南詰周辺 ◇11月23日午後、ホシハジロ、セグロカモメ、イソシギ、タシギ、キセキレイなど(大畑祐二)。

さいたま市桜区さくら草公園 ◇11月24日、カイツブリ、バン、ツグミ、ジョウビタキ♂、モズ♀、ホオジロなど(陶山和良)。

さいたま市南区彩湖北端部 ◇11月24日、ホシハジロ、キンクロハジロ、コガモ合わせ50羽程。カモ類の数が例年に比べ少ないように感じる。カンムリカイツブリ、カワウ、コサギ、オオバン、ウグイス、ツグミ、シジュウカラ、ハクセキレイなど。貯水機場入口でタヌキ出現(陶山和良)。

吉見町八丁湖公園N36.0601 E139.4398 ◇11月27日、林でアカゲラ2羽。つがいだったのか？ メジロ、シジュウカラ、コゲラの混群。湖でマガモ、キンクロハジロ、カルガモ、ハシビロガモ、カイツブリ、カワウなど(長嶋宏之)。

表紙の写真

スズメ目メジロ科メジロ属メジロ

満開の梅林で蜜を吸っていました。メジロには梅の花が似合います。 **新井 巖(深谷市)**



行事案内



カンムリカイツブリ(編集部)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に住所・氏名を記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーたちが望遠鏡で見せてくれます。体調を整えてご参加ください。

参加費：就学前の子無料、会員と小中学生 50 円、一般 100 円。

(4月からは、中学生以下無料、会員 100 円、一般 200 円になります)

持ち物：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋。持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

解散時刻：特に記載のない場合正午から午後 1 時ごろ。

悪天候の場合は中止、小雨決行です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。間際に時刻表が変更される場合もあります。ご注意をお願いします。

東京都・葛西臨海公園 レディース探鳥会

期日：3月5日(土)

集合：午前 9 時、葛西臨海公園駅前。

交通：JR京葉線東京駅 8:40 発 新木場駅 8:50 発 葛西臨海公園駅 8:54 着

解散：午後 2 時ころ。

担当：菱沼(洋)、小林(み)、吉原(早)、渡邊

見どころ：クロツラヘラサギに会えるかな？

水鳥を中心にゆっくり女性だけで楽しめます。途中で昼食をとりますので、お弁当、飲物、敷物を忘れずに！

蓮田市・黒浜沼探鳥会

期日：3月6日(日)

集合：午前 8 時 45 分 JR 宇都宮線蓮田駅東口バス停前。または午前 9 時、環境学習館前。

担当：玉井、青木、内田、榎本(建)、小林(み)、田中、長嶋、長野、菱沼(一)、菱沼(洋)、星野、吉安

見どころ：この季節になると冬鳥達は北への長旅に備えての帰り支度が始まると同時に、ウグイスの囀りなど春に向けて様々な変化が現れます。そのような春の兆しを道端の早春の野の花と併せて探しましょう。

ご注意：車の方は、“緑のトラスト保全第 11 号地 黒浜沼駐車場”を利用して下さい。

寄居町・玉淀河原探鳥会

期日：3月6日(日)

集合：午前 9 時 30 分、寄居駅南口駅前広場。

交通：秩父鉄道 熊谷 8:52 分発、または東武東上線川越 8:18→小川町乗り継ぎで寄居下車

担当：茂木、井上、今村、鶴飼、堀口、松下

見どころ：河原までは町の中で春を見つけながら春を待つ鳥の様子を、荒川沿いでは花畑を見ながら鉢形城まで歩きます。ペニマシコや橋の下のオシドリに会えるかも。

滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：3月8日(火) 平日

集合：午前 9 時 25 分、森林公園南入口前。

交通：東武東上線・森林公園駅北口から立正大学行きバス 9:05 発で「滑川中学校」下車。ひとつ手前の「森林公園南口入口」は通過してください。

費用：参加費以外に入園料 410 円(子供 80 円)、65 歳以上 210 円(要年齢を証明できるもの)。

担当：中村(豊)、大坂、小林(み)、鈴木(秀)、藤澤

見どころ：平日の森林公園を散策します。冬鳥たちはそろそろ故郷へ帰る準備。ヤマガラ、シジュウカラ、ウグイスたちが応援歌を歌っています。足元の草花にも目をやりながら、早春の森を歩きましょう。鳥合せのあと、希望される方には引き続き南口までご案内します。その場合には昼食をお忘れなく！

戸田市・彩湖探鳥会

期日：3月12日(土)

集合：午前9時10分、彩湖道満グリーンパーク中央駐車場。

交通：JR 埼京線武蔵浦和駅東口から、②番バス乗り場 8:12 発下笹目行きで、「彩湖道満グリーンパーク入口」下車。直前の交差点まで戻り左折して土手を越える。

担当：石塚(敬)、赤坂、赤堀、石塚(真)、今村、大井、小林(み)、新部、野口(修)

見どころ：11月から月1回開催されてきた本探鳥会も今季分はいよいよ最後。春の足音とともに、人も冬鳥も旅立ちの時期。すっかり“着飾り”を終えたカムリカイツブリたち、私たちにどんな表情を見せてくれるのでしょうか？ 「また来るよ！」と翼を振ってくれるのでしょうか…。

さいたま市・見沼自然公園探鳥会

期日：3月12日(土)

集合：午前8時15分、JR 大宮駅東口「こりすのトトちゃん」像前。または午前9時15分、見沼自然公園駐車場南側のベンチ付近。

担当：浅見(徹)、青木、浅見(健)、工藤、柴野、山田

見どころ：春恒例の「見沼たんぼクリーン大作戦」です。公園周辺で、身近な野鳥を観察しながらゴミ拾い。きれいな見沼を守るため、みんな集まれ～！ お持ちの方は、ゴミ拾いトングをご持参ください。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：3月13日(日)

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。

交通：秩父鉄道 熊谷 9:09 発、または寄居 8:50 発に乗車。

担当：榎本、新井、鶴飼、倉崎、田島、千島、飛田、中川、村上、茂木

見どころ：この冬は、思っていたより鳥が少ないなあ。今月の担当リーダーは、ゴルフ場の南側を抜けるいつもの林の径がお気に入り。いつものとおり歩いてみましょう。解散後は、「野鳥の森」にも足を延ばしてみようかな。

加須市・加須はなさき公園探鳥会

期日：3月19日(土)

集合：午前8時40分、東武伊勢崎線花崎駅南口階段下。集合後徒歩で現地へ。または午前9時、加須はなさき公園管理事務所前。

注) 集合場所が変わりました。

交通：東武伊勢崎線春日部 8:14→久喜 8:27→花崎 8:34。または JR 宇都宮線大宮 7:53→久喜 8:15 で東武伊勢崎線乗り換え。

共催：加須はなさき公園管理事務所

担当：長嶋、相原(修)、相原(友)、石川、植平、菊川、竹山、星野、渡邊

見どころ：アオジやシメやジョウビタキなどの冬鳥たちは遠い北国への旅立ちの用意を済ませただろうか？ メジロやモズやカワセミたちは良きパートナーに巡り合えたのだろうか？ そんな小鳥たちを春の兆しを感じる公園で探しましょう(トイレは3カ所あります)。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：3月19日(土) 午後3時～4時ころ
会場：会事務局 108 号室

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：3月20日(日)

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後路線バスで現地へ(ご注意：案内人は8時過ぎに北浦和駅東口到着予定です)。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：小林(み)、青木、赤堀、浅見(健)、石塚(敬)、楠見、小菅、柴野、須崎、新部、畠山、増田

見どころ：鳥たちは今、恋の季節。さえずっているのは誰？ ペアになったのは？ 彼らが繰り広げるドラマを花いっぱい三室で楽しみましょう。

松伏町・松伏記念公園探鳥会

期日：3月20日(日・祝)

集合：午前9時30分、松伏記念公園北口駐車場。

交通：東武伊勢崎線北越谷駅東口、①番バス乗り場から、8:57 発、茨城急行バス「エローラ行き」乗車。「松伏高校前」で下車し

て、道の反対側の駐車場へ。

担当：田邊、植平、佐藤、佐野、進士、野村(修)、野村(弘)、橋口、森下、吉岡

見どころ：恒例になりつつある春分の日(彼岸の中日)に俗事をしばし忘れ、調整池と幾つかの運動場で構成された公園とその周辺の農耕地を歩く探鳥会です。それでも渡りの季節のせいか予想外の鳥に出会ったり、本年の初見の夏鳥をゲットしたりと楽しい探鳥会になるでしょう。もちろん初心者やお子様連れも大歓迎です、参加をお待ちしています。

栃木県・日光東照宮裏山探鳥会

期日：3月20日(日)

集合：午前9時25分、東武日光駅前。集合後路線バスで「総合会館前」まで移動。

交通：東武春日部7:44発スカイツリーライン快速→東武日光9:22着。または東武栗橋7:57発新栃木行→板倉東洋大前で8:11発「快速」東武日光行きに乗り換え。

解散：午後2時ごろ、神橋付近で。

担当：浅見(徹)、植平、佐藤、佐野、玉井
見どころ：カワガラス、ミソサザイ、キバシリなどを求めて、沢沿いの道を登ります。足ごしらえはしっかりと。昼食持参。断熱性の敷物があると快適です。途中にトイレがないのがちょっときついコースです。

坂戸市・高麗川探鳥会

期日：3月21日(月・祝)

集合：午前8時、東武越生線川角駅前。

交通：東武東上線川越7:20(準急)→坂戸で越生線乗り換え7:40発。または寄居6:44→小川町乗り継ぎ、坂戸で越生線乗り換え。JR埼京線大宮6:37→川越で東武東上線乗り換え。

担当：山口、青山、久保田、志村、杉原、鈴木(秀)、高草木、藤掛、藤澤、持丸

見どころ：桜の開花も近づく春の探鳥です。残っている冬鳥、いつもの留鳥、そして足元の草花も楽しみましょう。去年は、ヒレンジャク6羽の珍客もいました。今年は何が現れるのでしょうか。

行田市・さきたま古墳公園探鳥会

期日：3月24日(木)

集合：午前9時30分、県立さきたま史跡の博物館前レストハウス。

交通：JR行田駅東口から、行田市内循環バス・観光拠点コース左回り9:05発で「埼玉古墳公園前」下車、徒歩約2分。

担当：相原(修)、相原(友)、大坂、岡安、竹山、立岩、内藤、野口(由)、村上、茂木

見どころ：旧忍川に沿い約3.5km歩き古代蓮の里までの片道コース。オオジュリンなどの小鳥やクイナ類、浄水場では北への旅路に向かうキンクロハジロなどの群れを観察します。

秩父市・ミュージックパーク探鳥会

期日：3月26日(土)

集合：午前9時10分、西武秩父駅前。集合後、ミュージックパーク循環バス9:25発で音楽寺下車。または午前9時40分、ミュージックパーク内の百花園駐車場。

交通：秩父鉄道熊谷7:41発→御花畑8:48着→〈徒歩5分〉→西武秩父8:55着。または所沢7:31発(西武池袋線快速急行)→西武秩父8:49着。

解散：昼食後、午後1時半頃に現地で。西武秩父駅行きのバスは14:24発。

担当：長野、青木、井上、佐野

見どころ：2003年以降途絶えていた秩父市内での探鳥会が、当時の羊山公園から場所を変えて復活しました。ウソ、イカル、アオゲラ、アカゲラなどに期待しましょう。

ご注意：弁当を持参してください。ミュージックパーク循環バス乗車券は1日乗り放題で大人500円、子ども250円、バス車内および西武観光バス秩父営業所で購入できます。

狭山市・入間川定例探鳥会

期日：3月27日(日)

集合：午前9時、西武新宿線狭山市駅西口。

交通：西武新宿線本川越8:42発、所沢8:39発に乗車。

解散：正午ごろ、稲荷山公園。

担当：長谷部、石光、久保田、鈴木(秀)、高草木、

中村(祐)、藤掛、星、水谷、山口、山本
見どころ：まだ少し寒いけれど、外を歩くとき気持ちのいい季節です。河原では、イカルチドリが飛び回り、林の中からはカラ類のさえずりが聞こえてくるでしょう。例年通りカタクリをみるコースです。

加須市・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：3月27日(日)
集合：午前8時10分、東武日光線柳生駅前。
または午前8時30分、中央エントランス駐車場。
交通：東武日光線・新越谷7:21→春日部7:36
→南栗橋7:52→柳生8:06着。またはJR宇都宮線下り大宮7:03→栗橋7:38着で東武日光線に乗り換え、柳生8:06着。
解散：正午ころ、谷中村史跡ゾーン。
担当：佐野、植平、佐藤、進士、田邊、玉井、野口(修)、山田
見どころ：今年もヨシ焼きと谷中湖の干し上

げが行われます。様子の一変した遊水地で、もうすぐ旅立つ冬鳥と、ここで繁殖する鳥たちを探します。

羽生市・羽生水郷公園探鳥会

期日：3月30日(水)平日
集合：午前9時、羽生水郷公園北駐車場。
交通：羽生市福祉バス手子林・三田ヶ谷ルート(ムジナもん号)で東武伊勢崎線羽生駅東口8:05発、南羽生駅8:22発、「キャッセ羽生・水郷公園」下車。
共催：羽生水郷公園管理事務所
担当：相原(修)、相原(友)、新井、植平、竹山、飛田、中川、茂木
見どころ：冬の寒さも去り春が来ました。もう桜は咲いているのでしょうか、去りゆく冬鳥に別れを告げ、気の早い夏鳥と一緒に探しましょう。
ご注意：帰りのバスの便は14:51発です。

日本野鳥の会埼玉会員優先!

日本野鳥の会本部・日本野鳥の会埼玉共催

「叶内拓哉の写真撮影会」開催!

～Canon最新機種をフィールドで!～

(公財)日本野鳥の会、Canonマーケティングジャパン協力のもと、講師に野鳥写真家の叶内拓哉氏を迎え、「叶内拓哉の写真撮影会」を開催いたします。野鳥撮影講座、野鳥撮影のマナー講座に加え、フィールドでCanonの最新機種を使って、実際に野鳥撮影ができる会員限定の貴重な機会です。

日時：平成28年5月22日(日)午前9時～12時

場所：川越市・伊佐沼「えすぼわーる伊佐沼」

参加費：無料 ※会員限定

講師：叶内拓哉氏

担当：石塚、廣田

定員：会員限定20名 ※先着順となります。

貸出機種：【カメラ】EOS7DMark II、EOS-1DX、パワーショットSX60HS等

【レンズ】EF600mm F4L IS II USM、EF500mm F4L IS II USM等

※貸出予定機材リストは支部HPに掲載いたします。

申込方法：はがきに、住所・氏名・年齢・電話番号・希望カメラと希望レンズ(第2希望まで)を明記し、「〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル 日本野鳥の会メディアG・埼玉野鳥撮影会係」宛てにお申し込みください。3月1日(火)消印から受付を開始し、4月18日(月)締め切り。(定員に達し次第締め切りとさせていただきます)。

その他：参加者確定後、詳細な案内状と機材確定のお知らせをお送りいたします。



行事報告

10月18日(日) さいたま市 三室地区

参加: 57名 天気: 晴

キジ カルガモ コガモ カイツブリ キジバト
アオバト カワウ ゴイサギ アオサギ ダイサ
ギ バン オオバン トビ オオタカ カワセミ
コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス
シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ エナガ メジ
ロ ノビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセ
キレイ カワラヒワ ホオジロ (30種) (番外: ド
バト) 17名が一般の方。鳥見初心者3名には黄
色いリボンをつけてもらい、ホオジロ、モズなど
を楽しんでもらった。ベテランたちはノビタキの
出現に大喜び。鳥合わせの最中にカラの混群が飛
来し、その中にエナガ。当地初記録。(浅見 徹)

10月25日(日) 行田市 さきたま古墳公園

参加: 31名 天気: 晴

カルガモ キジバト アオサギ ダイサギ オオ
タカ カワセミ コゲラ モズ カケス ハシボ
ソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨ
ドリ メジロ ムクドリ ジョウビタキ スズメ
ハクセキレイ カワラヒワ ホオジロ (20種) (番
外: ドバト) 強風となり鳥影が薄い。それでも
上空にはオオタカが舞い、水路ではカワセミが現
れた。林ではシジュウカラ、メジロが鳴き、この
探鳥会でのお目当てのジョウビタキはいつもの場
所に現れ、全員で楽しむことが出来た。

(相原修一)

10月25日(日) 東京都 多摩動物公園

参加: 32名 天気: 晴

マガモ カルガモ オナガガモ キジバト トビ
コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス
シジュウカラ ヒヨドリ スズメ キセキレイ
ハクセキレイ (14種) 多摩動物公園の協力を得
て、午前中は鳥の羽根や骨格についての講義。顕
微鏡で見た羽根がきれいで、参加者からは驚きの
声があがった。骨格については、標本を用いて鳥
類の独特さについての解説があった。午後は、ケ

ージの中にいる鳥の飼育下におけるエピソードを
中心に興味深く説明してくれた。トキやイヌワシ
等見る機会が少ない鳥たちを間近で見ることがで
きた。鳥合わせは、園内に飛来した野鳥のみを対
象に。動物公園の吉田さんと草野さん、ご協力あ
りがとうございました。(入山 博)

11月7日(土) 上尾市 丸山公園

参加: 28名 天気: 晴

マガモ カルガモ キンクロハジロ カイツブリ
キジバト アオサギ クイナ オオバン オオタ
カ カワセミ コゲラ モズ カケス ハシボソ
ガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ
ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ツグミ
ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハクセクレ
イ セグロセキレイ カワラヒワ シメ ホオジ
ロ アオジ (31種) (番外: ドバト、ガビチョウ)

冬鳥が揃った。セキレイも三色そろい踏み。静
かな公園で、新しい季節の到来を味わう。猛禽類
を期待して荒川の土手に登ってみたが、視界が悪
くて残念。しかし土手から降りたところで、頭上
をオオタカ1羽が飛んだ。今年度の新リーダー、
近藤さんは今日がデビュー、廣田さんはデビュー
2戦目。2人とも大活躍。ベテラン・リーダーも
初心に帰ってがんばらなければ! (小林みどり)

11月8日(日) 熊谷市 大麻生

雨のため中止。(榎本秀和)

11月8日(日) 春日部市 内牧公園

雨のため中止。(石川敏男)

11月12日(木) 羽生市 羽生水郷公園

参加: 35名 天気: 曇

オカヨシガモ ヨシガモ ヒドリガモ マガモ
カルガモ オナガガモ コガモ カイツブリ キ
ジバト カワウ アオサギ ダイサギ コサギ
クイナ バン オオバン タゲリ トビ ノスリ
カワセミ コゲラ チョウゲンボウ ハヤブサ
モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュ
ウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ セッカ
ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハク
セキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シメ
ホオジロ アオジ オオジュリン (42種) アシ
原ではオオジュリン、アオジなどの冬鳥たちを楽

しむ。クイナも鳴き、運の良い方は姿も確認。壕にはヨシガモをはじめとするカモが羽を休め、ここでは珍しいオカヨシガモも現れた。上空では11年ぶり3度目の観察となったタゲリの群れが舞い、ハヤブサとチョウゲンボウのバトルもじっくりと観察できた。(相原修一)

11月14日(土) さいたま市 見沼自然公園

参加：9名 天気：雨

オカヨシガモ ヒドリガモ マガモ カルガモ ハシビロガモ オナガガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ ダイサギ バン オオバン カワセミ コゲラ モズ ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ アオジ(28種) 小雨の降る中、人気の少ない公園内でのんびりと鳥見。池では淡水ガモ7種をじっくり観察。周囲の木立では、じっとしているとエナガ、メジロ、シジュウカラの混群が手の届きそうな距離まで近づいてきた。雨の日も良いものだ。(浅見 徹)

11月15日(日) 嵐山町 菅谷館都幾川

参加：16名 天気：曇

コジュケイ キンクロハジロ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ クイナ オオバン トビ オオタカ ノスリ コゲラ アオゲラ チョウゲンボウ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ビンズイ カワラヒワ ベニマシコ シメ イカル ホオジロ カシラダカ アオジ(40種)(番外：ドバト、ガビチョウ) 集合場所でジョウビタキの声、イカルが鳴きながら飛んだ。雑木林ではシメの群れが飛び、ホテルの里でシメをじっくり見ることができた。都幾川に出ると、対岸の木にビンズイがとまり、キセキレイ、セグロセキレイ、ハクセキレイ、アオゲラが飛んできた。遠くの木にはオオタカ。桜の木にチョウゲンボウがとまり、カシラダカ、ツグミ4羽が木にとまっていた。ベニマシコやクイナが鳴いたが姿は見えなかった。ここでは珍しいキンクロハジロ♀1羽が水面に浮かび、オオバンが対岸に現れた。(千島康幸)

11月19日(木) 戸田市 彩湖

参加：33名 天気：曇後晴

キジ マガモ カルガモ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ カイツブリ カンムリカイツブリ キジバト カワウ アオサギ オオバン ユリカモメ カワセミ アリスイ コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス ムクドリ アカハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ タヒバリ カワラヒワ ベニマシコ シメ(32種)(番外：ドバト、ガビチョウ) 下見で見られたヨシガモ、ハジロカイツブリ、当日の朝見られたというミコアイサ。探鳥会ではいずれも姿が見られなかった。この時季の彩湖は渡りの中継地なのだろう。カンムリカイツブリは、どっさり入っている。頭部にまだ“カンムリ”の名残があるものもいた。これから彼らの姿が、いつ頃、どう変化してゆくか? 毎月の観察が楽しみである。(小林みどり)

11月21日(土) 加須市 渡良瀬遊水地

参加：65名 天気：晴

オカヨシガモ ヨシガモ ヒドリガモ マガモ カルガモ ハシビロガモ オナガガモ コガモ キンクロハジロ カイツブリ カンムリカイツブリ ハジロカイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ オオバン アオアシシギ セグロカモメ ミサゴ トビ チュウヒ ハイイロチュウヒ オオタカ ノスリ カワセミ コゲラ ハヤブサ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ セッカ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ベニマシコ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン(48種+ハクチョウ属不明種1) 猛禽類はハイイロチュウヒ(♀)を含めて7種を観察。東谷中橋では、釣り人のすぐ近くにアオアシシギが。そして上空にはハクチョウが飛んで行く。好天に恵まれ、久しぶりにゴールまでたどり着くことができた。皆さま大変お疲れ様。(佐野和宏)

11月21日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア：12名

相原修一、宇野澤晃、榎本秀和、海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、小林みどり、志村佐治、藤掛保司、増尾隆、吉原早苗、吉原俊雄



● 福岡県和白干潟のラムサール条約登録署名活動第 2 弾に協力します

和白干潟を守る会(福岡市、代表山本廣子さん=日本野鳥の会福岡支部幹事)は、昨年 1 月、福岡市長と環境大臣に、それぞれ約 1 万名分のラムサール条約登録第 1 弾署名を提出しました。しかし、福岡市はなかなか和白干潟ラムサール条約登録に前向きではなく、第 2 弾として、同市議会議長あての請願書名活動を開始しました。

和白干潟を守る会の会員でもある藤掛保司当会前代表を通じて、日本野鳥の会福岡支部長小野仁さんから協力を求める手紙も届き、1 月 17 日(日)の当会役員会で協議、日本野鳥の会埼玉として協力することになりました。

ミヤコドリやクロツラヘラサギなど、多くの貴重な野鳥たちの生息地を守る活動をご支援ください。

前に署名をしたことがある方も、今回は提出先が前回と違います。あらためて署名をお願いします。

<http://wajirohigata.sakura.ne.jp/> (または「和白干潟を守る会」で検索)から、送り先等も明記した署名用紙を印刷できます。



クロツラヘラサギ(編集部)

● 会員の普及活動

1 月 16 日(土) 金勝山で開催された県立小川げんきプラザ主催「陽だまりバードウォッチング」で千島康幸が指導。参加者 12 名。

● 会員数は

2 月 1 日現在 1,753 人。

活動と予定

● 1 月の活動

1 月 16 日(土) 『しらこぼと』2 月号校正(海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、小林みどり、佐久間博文、志村佐治、長嶋宏之、藤掛保司)。

1 月 17 日(日) 役員会(司会:佐野和弘、一般社団法人佐渡いきもの語り研究所が 2 月 13 日森林公園探鳥会の後にトギに関するセミナーを開催したいとの申し出について・和白干潟ラムサール条約登録署名活動・その他)。

1 月 25 日(月) 『野鳥』誌を購読しない会員向け、『しらこぼと』2 月号を郵便局から発送(事務局)。

● 3 月の予定

3 月 5 日(土) 編集部会。普及部会。

3 月 12 日(土) 4 月号校正(午後 4 時から)。

3 月 19 日(土) 袋づめの会(午後 3 時から)。

3 月 20 日(日) 役員会(午後 4 時から)。

編集後記

NHK 木曜時代劇「ちかえもん」が毎回楽しみ。ストーリーもさることながら、松尾スズキが演じる近松門左衛門が、劇中で歌う懐かしのフォークがいい。「学生街の喫茶店」「傘がない」etc… “アラ還” どころか “ドン還”(=ドンぴしゃ還暦)の心に、じわ〜んと、しみ渡ります… (泥蜥蜴)

しらこぼと 2016 年 3 月号(第 383 号) 定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)
発行人 海老原美夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
郵便振替 00190-3-121130 <http://www.wbsj-saitama.org> 事務局 office@wbsj-saitama.org
編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 編集部への野鳥情報 toridayori@hotmail.com
住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田 3 丁目 9 番 23 号 丸和ビル
(公財)日本野鳥の会会員室 TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635 gyomu@wbsj.org
本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社